

黒田庄まちづくり協議会より ＜観光・特産部会の報告＞

第170号7月

6月22日(月)に黒っこプラザに於いて、令和2年度第1回観光・特産部会を開催しました。その部会の決定事項をお知らせします。

1 令和2年度観光・特産部会事業計画について

(1)黒田庄駅舎「あつまっ亭」周辺の活性化

★あつまっ亭活性化実行委員会を設置して協議していく。

(2)観光レクリエーションゾーンづくり

★白山及び妙見山登山道整備については、昨年度に妙見山ルートと前坂ルートを整備したので、今年度は門柳ルートを整備する。

★町内観光施設等の案内板等の再整備については、今年度は案内板設置の洗い出しを行い、どの箇所から設置していくか検討する。

2 あつまっ亭活性化実行委員会設置について

(1)正副委員長の選出

★藤本恭造部会長より、委員長に岡原文男氏、副委員長に大山岩一氏を推薦し、全員拍手により承認される。

3 あつまっ亭活性化実行委員会活動計画について

(1)あつまっ亭厨房等の改修

★倉庫の一部を活用して厨房を広くし、備品も更新する予定である。入口も正面から出入りできるように考えている。また、西日が強いのでオーニングを付ける予定である。

(2)チャレンジショップの出店者

★改修等の目途がついた時点で、募集チラシを各戸配布する。

(3)あつまっ亭感謝祭の開催

★11月22日(日)に開催する予定であるが、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら検討する。

(4)移動朝市

★昨年と同様にイベントで出店する。



＜広報部会の報告＞

6月26日(金)に黒っこプラザに於いて、令和2年度第1回広報部会を開催しました。その部会の決定事項をお知らせします。

1 黒田庄つうしん発行について

(1)毎月15日に発行

★各集落の配布物の引取りは、15日以降、15日が日曜日及び祝日の場合は16日以降とする。

(2)原稿収集・編集後記

★委員で毎月分担し、各集落・団体・グループからイベントや行事の記事(一つ程度)の原稿収集と編集後記を作成する。



2 黒田庄の情報発信について

(1)黒田庄のイベント・観光などSNSを活用した情報発信



編集・発行
黒田庄まちづくり協議会
西脇市黒田庄町前坂2140番地
TEL 28-2121
令和2年7月15日発行



黒田庄地区の人口
(R2.7.1現在)
男 3,192
女 3,417
計 6,609
世帯数 2,637
人口前月比 (-16)

石原の圓福寺と観音堂

石原は、北・西・南を山に囲まれ、山中からは多くの古墳や寺院・山城が発見されている歴史ある集落です。桜丘小学校グラウンドの北側の山裾に、水ノ尾の観世音菩薩(観音堂)があり建物の中には観世音菩薩様が祀られています。



観音堂は、江戸中期に石原の宮崎好博氏のご先祖が建立されたそうです。現在の観音堂は昭和58年に建て替えられています。その西側に真言宗東寺派と書かれた籠堂があり、もとは南向きに建っていて、南西の台地にあった圓福寺の庫裏であったそうです。

別当慈光山・真言宗圓福寺は、資料によりますと白鳳時代の白雉(はくち)3年(652年)に法道仙人により開基された寺院で、近くにあった春日神社の宮寺であったそうです。

現在、建立当時の建物は残っていませんが、約1300年余りの由緒あるお寺です。



圓福寺に、延徳4年(1492年)、慈光山・圓福寺と墨書きされた木製本地仏2体が伝わっています。この本地仏2体は県立歴史博物館(姫路市)に保管されていますが、木製神鏡の表には本地観世音(かんぜおん)、本地薬師如来(やくしによらい)、本地文殊師利井(もんじゅしりぼさつ)とあり、別の一体には、本地地藏井(じぞうぼさつ)、本地釈迦如来(しゃかによらい)とあり、表の字はすべて梵字です。

今日まで、観音講の方々が長年にわたり観音堂・圓福寺を護ってこられました。ご高齢により管理が出来なくなっています。

このまま何もしないで放置し由緒ある観音堂・圓福寺を朽ちさせてしまうのは誠に僥倖なく、現在、石原の皆様にお知恵を拝借し、観音堂・圓福寺を継続して護っていくにはどうすれば良いのか、ご意見を聞かせていただいています。早急に結論が出ることを期待しています。

※本地仏とはこの世の神々は、人間を救済し濟度しようとする仏や菩薩がいろいろな姿であらわれた化身、すなわち垂迹(すいじゃく)身であるとし、その根本である仏・菩薩のことを本地仏という。これは仏教が日本に渡来してから起こった思想で、仏も神も淵源をたずねるとみな同体であるという考え、すなわち本地垂迹(すいじゃく)説である。(参考:平凡社世界大百科事典)

参考文献

「播州石原村小史」村上雅禧著、「黒田庄の歴史を学ぼう！」黒田庄の歴史を学ぶ会より引用



虹の会工房

就労継続支援B型&生活介護&グループホーム

新型コロナウイルス感染拡大防止のための“新しい生活様式”というのが普段の生活に取り入れられました。第2波の流行も気になる今日この頃です。この時期特有の梅雨前線の影響で各地に大雨が降り甚大な災害がおこっています。非常時の避難等についても支援の必要な“要援護者”や家族にとって大変不安なことであると思います。各地域では自主防災会というのが立ち上げられていますので、まずは地区に支援が必要な人がいることを把握していただき声を掛け合える「互助の関係づくり」を進めていくことが大切ですね。(文責 坂田)



生活介護の利用者さんは、イオン加西へ
外食と買い物体験をしました。



就労の利用者さんは、市内で
外食や買い物体験をしました。

7月の予定

13日(月)~17日(金) 北はりま特別支援学校(高等部の生徒さん) 現場実習受け入れ

29日(水) ふくしまルシェ(お菓子の販売)・・・市役所ロビーにて

★お菓子の注文もお受けしています。お気軽にお問合せ下さい。

★季節のラッピングがかわいいお菓子の詰め合わせ(500円です)



黒田庄こども園 七夕集会



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、向陽苑の方々との交流会や、7月後半に予定しておりました、親子での【夕涼み会】は中止となり、子どもたちだけの【七夕集会】を7月7日に行いました。密を避けるために、先生方で制作した【七夕のDVD】の観賞やお菓子釣りゲーム・神様とのじゃんけんゲームなど、年齢毎に時間差で集会を楽しみました。雨天でしたが、短冊に願い事も書きましたよ。

七夕のDVDは、職員撮影・編集・出演のすべて職員手作りのDVDです。(発売は禁止で～す。) 貸し出しは??

また、保護者会では【夕涼み会】の中止決定に伴い、『このような状況の中でも、子どもたちや地域の人のために何かできないか。』と、いろいろと話し合いを持っていただきました。

子どもたちの楽しみや、一人ひとりの優しい心を育てるなど、地域の高齢者の方に【うちわ】をプレゼントしよう、思い思いの【うちわ】を家庭で制作することになりました。優しい気持ちと楽しい【うちわ】がいっぱいできましたよ。後日届けた高齢者施設の方々も大喜びでした。



<織姫と彦星と一緒に>

今年も、西脇市老人クラブ連合会より雑巾を150枚も寄贈いただきました。

園では、何枚あってもよいものです。大切に使用させていただきます。ありがとうございました!

(4)

★インドヨガ教室再開について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月より休講としておりましたインドヨガ教室を9月より再開いたします。ソーシャルディスタンスに気を配りながら実施します。

また、新規受講生も随時募集しておりますのでよろしくお願いいたします。

- 日 時 : 令和2年9月3日(木)から毎週木曜日
午後7時30分～午後8時30分
- 場 所 : 西脇市コミュニティセンター黒田庄地区会館
(黒っこプラザ) 2階 大ホール
- 受講料 : 月/2, 500円 (毎月、月はじめに徴収)
- 持ち物 : ヨガマット・動きやすい服装
- お問合せ : 黒っこプラザ 電話 28-2121



★学校支援ボランティアの「ブックポケット」制作

黒田庄地区の学校支援ボランティア14名のみなさんが、桜丘小学校の全校児童分の「ブックポケット」を制作しました。

「ブックポケット」とは、学校の児童用椅子の背もたれに取り付けた袋で、本数冊を収納できるものです。

空き時間に少しでも本を読んで知識を増やしてほしいという願いから、平成29年に日野小学校の校長が地域学校協働本部に依頼し、地区のボランティアの皆さんが制作されたことをきっかけに、市内の小学校で広まっている取り組みです。



作業中



完成

今回の「ブックポケット」制作は、6月22日から7月6日までの間に、播州織の布を使って、学校の家庭科室で行われました。何分131枚も作るので、ボランティアの人数は毎回増えたそうで、たくさんの手作りの温かさがつまっています。

7月20日には、ボランティアの皆さんが、完成した「ブックポケット」を児童にプレゼントする催しが行われる予定です。とても素敵な「ブックポケット」が仕上がり、子どもたちも本を読むのが楽しみになりそうです。

編集後記

7月に入りましたが、まだ梅雨真っ只中のようなうっとうしいお天気が続きます。新型コロナウイルスの感染者数もまた増加傾向にあり、何だか気分は冴えません。

黒田庄まちづくり協議会も、イベント等の自粛傾向で活動を余儀なくなされている状況ですが、先日、第1回目の広報部会を開催しました。3密にはならない「黒田庄つうしん」の発行は、変わらず継続できる事業です。ここはひとつ、大いにがんばって黒田庄まちづくり協議会の活動を支えなければ!!と思っています。記事の掲載希望や提案などがありましたら、ぜひ、黒っこプラザまでご連絡ください。お待ちしております。

Y. H